

地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金のKPIの実績について

国の地方創生加速化交付金は、平成28年度に下記の2事業を実施した。地方創生推進交付金は、平成28年度から下記の1事業を継続して実施している。

また、実施にあたっては、目標値であるKPI(重要業績評価指標)を設定し、その達成に向けて取り組んでいる。

平成29年度は、目標数値(KPI)に掲げている1指標を達成することができた。

事業名	番号	内容	単位	区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年後の達成状況	達成率	事業の成果		事業の効果	事業の評価	担当課
												事業の成果	事業で得られたノウハウ			
○加速化交付金【単独】 遠野市中心市街地再生を基軸とした生涯活躍のまちづくりプロジェクト～遠野BREW 遠野物語第2章～	1	新規起業・創業創出数	件	目標数値(累計)	1	-	-	6				【事業の成果】 遠野ローカルベンチャー事業による起業、高齢者の就業支援組織の設立、民間による市所有空き店舗活用による起業など5件の起業があった。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	まちづくり推進課	
				実績値(累計)	1	6				【事業で得られたノウハウ】 移住者等起業支援拠点施設を一日市通りに整備したことや、市役所本庁舎を中心市街地の中央に移転したこと等により、新たな人の流れができ、中心市街地での起業・創業の増に結びついた。賑わいを創出することにより、周辺への波及効果があることを確認した。						
	2	生涯活躍事業に関連する雇用者数	人	目標数値(累計)	1	-	-	20				【事業の成果】 遠野ローカルベンチャー事業による飲食店の開業、高齢者の就業支援組織の設立、民間による市所有空き店舗活用による起業で8人の雇用が創出された。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	まちづくり推進課	
				実績値(累計)	3	11				【事業で得られたノウハウ】 移住者等起業支援拠点施設を一日市通りに整備したことや、市役所本庁舎を中心市街地の中央に移転したこと等により、新たな人の流れができ、中心市街地での起業・創業の増、さらには雇用者数の増に結びついた。賑わいを創出することにより、周辺への波及効果があることを確認した。						
3	福祉関連施設の整備	件	目標数値(累計)	0	-	-	3				【事業の成果】 高齢者の生涯現役での活躍を促進する就業支援組織1件が設立された。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	まちづくり推進課		
			実績値(累計)	1	2				【事業で得られたノウハウ】 就業支援組織が設立されたほか、福祉関連施設の具体的な整備が進められた。「生涯活躍のまちを支える人材育成研修」の参加者によるもので、人材育成の必要性について確認した。							
4	空き家、空き店舗等の利活用	件	目標数値(累計)	1	-	-	10				【事業の成果】 飲食店8件、事務所2件、その他2件が空き店舗等の活用により開業があった。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	まちづくり推進課		
			実績値(累計)	2	14				【事業で得られたノウハウ】 移住者等起業支援拠点施設を一日市通りに整備したことや、市役所本庁舎を中心市街地の中央に移転したこと等により、新たな人の流れができ、主に飲食店が増加した。賑わいを創出することにより、空き家・空き店舗等のニーズが高まることを確認した。							
○加速化交付金【広域】(花巻市・平泉町・遠野市) 地方観光の稼ぐ力を強化する体験型事業の創出と広域的連携	5	体験型事業数	事業	目標数値(累計)	2	-	-	2				【事業の成果】 伝承園における裂織り体験及び柏木平レイクリゾートのマウンテンバイク体験事業数は事業当初のまま現状を維持している。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	観光交流課	
				実績値(累計)	2	2				【事業で得られたノウハウ】 花巻市及び平泉町と連携し実施しているが、3自治体のメニューを体験しながら、且つ他施設への波及効果を生む仕組みづくりが必要であることを認識した。						
6	当該体験型事業への総参加客数	人	目標数値	200	-	-	200				【事業の成果】 大雪の影響により、市全体の観光客数が減少したことが影響し、双方の利用者数は減少したが、両体験事業の参加客数は200人を超える体験者数を維持している。	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	観光交流課		
			実績値	252	235				【事業で得られたノウハウ】 市全体の観光客数は減少しているが、体験型事業については200人を超えており、アクティビティや、裂き織り体験などのメニューに一定のニーズがあることを認識した。今後は、花巻市及び平泉町と連携したPRの強化を図るとともに、冬場でも満喫できる体験メニューの工夫を図っていく。							
○地方創生推進交付金【単独】 とおののもの・こころ海外経済交流プロジェクト	7	遠野市の特産品等海外取引額	千円	目標数値	300	1,000	1,500	1,800	2,000			【事業の成果】 地方創生推進交付金実施計画(とおののもの・こころ海外経済交流プロジェクト)として、台湾及びアメリカ等の事業者との商談会や現地での物産展に取り組んだ。現地での販売に対して事業者が工夫を重ね魅力ある商品づくりやPRを重ねて目標値を上回ることができた。 ・台湾との取引額 6,790千円 ・アメリカ等の取引額 4,100千円	地方創生に相当程度効果があった	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	六次産業室	
				実績値	845	10,890				【事業で得られたノウハウ】 商談会や前年までの物産販売において、現地の様子や消費者動向に対して知見をつむことができ、パッケージや価格、味を現地向けにしたことにより、国内市場とは違う商圏での販売を学ぶことができた。						

※加速化交付金の番号1～6の目標数値(KPI)については、平成31年度までの目標数値を累計で設定したものであり平成29年度及び30年度の目標値は設定していない。